

会 議 録

平成 21 年 4 月 17 日調製

審議会等名	平成 20 年度 第 3 回図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	平成 21 年 3 月 26 日(木) 午前 10 時～午前 11 時 45 分
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	有
出席者氏名	関委員長 六原副委員長 小林委員 桑原委員 神田委員 名島委員 杉野委員 説明のための職員 金子生涯学習課長 長谷川文化振興係長 指定管理者 太向館長 竹内館長補佐 瀧澤業務責任者 村山副責任者 佐藤副責任者
市民憲章唱和	全員で市民憲章を唱和
協議題	(1) 平成 20 年度の図書館利用状況について (2) 平成 21 年度の図書館事業計画(案)について (3) その他
生涯学習課長	あいさつ
関委員長	おはようございます。今年度最後の協議会になります。予定されている協議題が 2 つありますが、そのほかにアンケートの結果や栄新分館関係の資料もあるようですので、それらを交えて協議し、三条市の図書館が来年度をめざして、よりよく発展し、市民の方々にとって有意義な図書館活動・読書活動ができるように、今年度一年全体を通してご意見等をいただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。 それでは 1 番目の「利用状況について」のご説明をお願いいたします。
館長	協議題(1)について資料 No.1、2 により、「図書館ご利用アンケート」の集計結果を別紙資料により説明
関委員長	20 年度全体とアンケートについて説明いただきました。全体的には利用者が増加して良い傾向でしたし、反省点として、本館の児童書や自動車文庫の本の入れ替えがちょっと遅めになってしまったが、21 年度は早めに対応していくというお話でした。 本館、栄分館、下田分館合わせて入館者数が 4 万人増えたということで、市民全体から見ると多いのか少ないのか見当がつかませんが、皆さんの目が図書館に向いてきていることかと思ひます。不景気で自分では本がなかなか買えなくなって、図書館を利用している人が増えているのかなと想像もできますし、最近の本屋さんは漫画本や雑誌に主力が置かれていて、しっかりした本はなかなか見当たらない。新しい本を探すには、新潟市の大きな本屋さんまで出かけなければならないという状況があって、それで図書館の利用が増える傾向があるのかなと思ひます。
六原副委員長	利用者が増えているということで、本当にいい方向に向いているな、図書館に興味を持っている方も増えてきているかな、というのが嬉しいんですが、来ていただいているにもかかわらず、借りられている冊数は減っていますね。子どものほうもそうで、図書館には来たけど欲しい本、読みたい本がなかった、という場合も考えられるわけ

	<p>です。レイアウトを工夫して見やすいようにというのはわかるんですが、子どもたちは今どういう本を読みたがっているのか、一般の方は何に興味を持っているのか、そういうリサーチを本屋さんは結構していますよね。図書館が本屋さんになってほしいわけではないんですが、書店のいいところ、お客さんにアピールするような部分は、どんどん採り入れていってもいいのではないのかとを感じるんです。通い始めれば図書館は来やすいんだけど、「まず第一歩」がちょっと高いかな、というイメージのある方もいらっしゃると思うんです。来てみたら本当に本がたくさんあるし、探せば、まして探してもらえば、読みたい本が見つけれられるというのを、もっとPRしていただけたらなと思います。インターネットで調べて借りる方法も図書館のサービスとしてありますが、それをご存じない方も結構いらっしゃる、「え、そうなの、そんなに便利なの。」「じゃあ近くの分館に行けば運んでくれるのね」と、私がお話したなかにも何人かいらっしゃる。だから、もっとPRの仕方を工夫して、「こんな本もありますよ」「こういうサービスもありますよ」と大きく訴えていくのも一つの方法ではないかなと思います。まずは利用していただいて、図書館の良さ、便利さ、楽しさというものを享受してもらえれば、「また行こうかな」「また借りようかな」というリピーターが増えていくんじゃないかと。特に子どもさんの本は、背表紙だけ見てもなかなかわかりませんので、絵本の表紙や絵を見せる並べ方を工夫していらっしゃると思うんですが。また、親御さんも子どもさんも一緒に、両方が探しやすい方法を工夫していただけたらな、と思います。</p>
<p>館長</p>	<p>本の展示は重要で、特に子ども向けの本、絵本の表紙を見せてあげるとは、興味を持ってもらえる重要な方法だと思います。もっと棚の整理をしませんと、古い本が背だけを見せて並んでおりなかなか手が伸びない、ということがあるとすれば、それを改善していく必要があると思います。</p> <p>また、最初に言われたリサーチについては、皆さまからご要望をいただく工夫をする必要があるかと思えます。ただ、図書館の役割とそぐわないものを求められても困りますので、公共図書館の意味合い、意義について皆さんにわかっていただきやすく発信して、ご希望をいただけるようになると理想かと思えます。</p> <p>広報につきましても、催しのお知らせだけで終わってしまうことが多いのが反省点で、宣伝というのは繰り返し行って損をすることはありませんし、繰り返し発信することで初めて受け手の耳に残るということもありますので、1回で終わらせるのではなく、繰り返しメッセージを送るなどして、今まで使ったことがない方にも図書館を知っていただき、足を向けていただいてご利用いただくということに、来年度はこれまで以上に取り組んでみたいと思います。</p>
<p>関委員長</p>	<p>ありがとうございました。とにかく図書館に来ないことにはどうもならないですね。三条の広報が毎月出ていますが、あれだって果たしてどれだけの人が隅から隅まで見ているかという、よくわかりません。私は割合項目だけは見っていますが、見ている人たちへの効果まではなかなかわからない。でもとにかく知らしめて、図書館に足を運んでもらわないと。</p> <p>でも、全体的には入館者数も利用冊数も増えていきますね。嵐南分室だけがちょっと減っている傾向がありますが。あそこは狭くて車を停めるのがやっかいなので、そう</p>

	いうこともあるかもしれませんが。
館長	ご参考までにですが、嵐南分室は、新しい文芸書が中心ですけれども、新刊本を毎週入れていくやり方は従来通りですので、資料の供給は順調に行っていました。
関委員長	私も何回か行ったことがあるんですが、近所に車を停めて歩いていきました。交通が激しいので出入りが危ないということもありますし、場所としてあまり良くないのかもしれませんが、地域の人にとって大事な場所ですよ。
生涯学習課長	確かに嵐南公民館の駐車場自体は広くありませんが、土曜・日曜や夜は、外山産業さんの駐車場をご厚意でお借りしており、50台くらい止められます。昼間でも空いていれば使っていいと言われておりますので、ご利用いただければと思います。
関委員長	公民館のところに、何かそういう表示はしてありますか。
生涯学習課長	催し物の案内とかには出しているんですが、社員の方が止められる場所なので「看板等は勘弁してほしい」と言われていまして、PRはあまりしていません。
関委員長	それでは、資料 No.2 に不明資料数、各館の蔵書数が出ていますが、この資料で何かお聞きしたいことはありませんでしょうか。
名島委員	不明資料数を見て、郷土資料がたくさんなくなっているというのは、すごく疑問に感じたんです。郷土資料を借りていく人というのは、わりと意識の高い人じゃないかと思っておりますので、「郷土資料は大事な資料だからなくなっては困る。替えがない」というふうに思っているのではないかと。もしかすると、返すのを忘れている人もあるかもしれませんから、返してもらえる対策を考えたほうがいいんじゃないかなと思いました。
関委員長	これは、どんな本だかわかりますか。借りて返し忘れたのか、持って行ってしまったのか。
館長	貸出手続きを取られたのであれば、「延滞」という形になりますから、手続きを取ってないものということになります。
関委員長	抜いて持って行ってしまえばね。でも書庫の資料は、持ち出すことはできないね。
文化振興係長	郷土資料は1階開架の手前のほうに並べておまして、貴重なものは書庫に置きますが、例えば県内の地図的なもの、よく利用される観光案内も郷土資料として置いてあります。ですので、一般の本と同じようによく貸し出されているものが、この数字には含まれているのだらうと思います。でも、確かにちょっと多いなという気がしますが、利用しやすいように置いてあるというところはあると思います。
神田委員	それらにはやはり、三条市図書館のシールを貼ってあるんですか。
文化振興係長	それはもう一様に、同じように貼っています。
神田委員	ということは、持って行って家に置き忘れて誰かが見れば、図書館のものだと気がつくわけだから、故意に持っていったということも考えられますよね。
館長	リストを見ますと、やはり大体普通の図書です。例えば、馬場さんが載っているのだと思いますがプロレス関係の本だとか、上杉謙信もあります。ちょっと気になりますのは、『県央農産物直売マップ』というのが、同じ5冊が不明になっておりますので、こういうのは恐縮ですが、図書館内での都合で点検から漏れたのではないかと思います。それ以外にも公的発行物が数点入っておりますが、そのほかは1階の開架の

	ところに並んでいてどなたでもご利用できる資料がほとんどでございます。
神田委員	貴重資料ではないわけですね。
関委員長	いずれにせよ、こういうことが起きないように、市民意識も高めていかなければならぬですね。 それでは、次に進んでよろしいでしょうか。21年度は、栄分館が4月26日に開館するということで、図書館がまた新しい形で利用できるようになるわけですが、そういうこともある21年度の事業計画案についてお話し願います。
館長	資料No.3により、平成21年度事業計画(案)について説明
関委員長	ありがとうございました。21年度の事業計画ということで、基本方針から広報活動についてまで、多彩にお話しいただきました。それでは、質疑がありましたらお願いしたいと思います。
六原副委員長	子どもの読書活動に関して、自動車文庫についてですが、以前も「できれば毎回同じ担当の方が行ってくだされば」とお願いしたところ、確か「それはシフト的に難しい」という回答をいただいて、「なるべくそのように」というお話しをさせていただいたと思うんですね。先ほど、自動車文庫の担当の方がいらっしゃるというお話があったと思うので、勤務シフト的に確かに難しいかとは思いますが、どうなんだろうなど。 それとも関連して、自動車文庫が回る日は、ただ車が行くだけではなく、先に学校に電話をかけたとかはあるんでしょうか。というのは、学校によっては行事が重なったりすると本当に忙しくて、「今日は自動車文庫の日だったよね。」というようにできないと、せっかく行ってももったいないことになりますよね。だから、事前に図書館の担当の先生に「今日もいきますのでよろしくお願いします。」「子どもたちに放送とかお願いしますね。」などと電話をしておく、「あ、そうね」と思い立ってくださるんじゃないかなと思ったんです。シフトが難しいのであれば、そういう方法もあるかと思えます。
館長	自動車文庫につきましては、竹内が1年間担当してまいりましたので、ご説明いたします。
竹内館長補佐	今いただいた意見は大変参考になりますので、ぜひ実践させていただきます。行く前にぜひ、一声電話をかけさせていただきたいと思えます。また、シフトのことですが、昨年の夏以降は、自動車文庫のスタッフ4人を火、水、木、金のそれぞれ曜日担当として決めましたので、毎回決まった人間が同じステーションに行くようになりました。来年度もそのようにいたしますので、基本的に毎回同じ人間が同じステーションに行くようになります。
六原副委員長	よかったです。子どもはやはり、「自動車文庫のことだったら、このお姉さん、お兄さんに聞けばいいな」という感じなので、相談しやすくなっていけば、利用もしやすいかなと思えますので。ありがとうございました。
関委員長	よろしいですか。ほかにございませんか。
小林委員	学校のほうでは、確かに教師ってわりとばたばたしていて、忘れてることがあります。訪問日が決まっているようでしたら、学校のほうにも年間の行事予定がありま

	<p>すので、いきなり「今日」と言われても「今日はちょっと」というのがありますから、あらかじめ行事予定を聞いていただけるといいかなと思います。やはり子どもたちに利用してほしいと思いますので、行事と当たってしまうようであれば、別の日に変えるのは多分かなり難しいだろうと思いますが、時間帯なりを考えてもらえればいいかなと思います。</p>
館長補佐	<p>3月にスケジュールが大体決まりましたときに、一度図書の担当の先生にスケジュール表をお送りしまして、ご都合をお伺いしております。そして、修学旅行とか、祭りに重なっているなどの連絡を学校からいただきまして、今回日を振り替えしたところも1ヵ所ありますが、基本的には振替は難しいですので、その日はお休みにさせていただきます。</p>
関委員長	<p>そうですね。よく突き合わせて決めていけば、スムーズにできるかと思しますので、よろしくをお願いします。</p>
神田委員	<p>荒沢保育所で利用が1冊もなかったというのは、少ないですね。旧早水保育所の人たちが皆荒沢に来ているので、そちらの子どもさんは多いはずなんですけれども、今、子どもさんが少ないからね。</p>
関委員長	<p>荒沢小学校は来年、入学者が3人しかいない。三条市全体で880だったか。</p>
神田委員	<p>12名ぐらい6年生が卒業して、今度入る子は3人しかいない。厳しいです。</p>
六原副委員長	<p>1年生が少ないということですね。</p>
桑原委員	<p>三条小学校も17名。減っちゃったですよ。</p>
六原副委員長	<p>子どもさんの減少に関係があるのかどうか分からないんですが、ブックスタートの本がブックオフに並んでいるという話を聞いたんですね。せっかく市が渡しているものなのに、読み終わったからなのかもしれないんですが、本を捨てたり売ってしまうということが、感覚的にちょっと。「初めてもらった本だ」という気持ちがないのが、すごく残念なんです。時代なのかな、という気もするんですが。例えば、渡すだけではないとは思いますが、もっと親御さんたちに、「読んであげるとこんなにいいことがあるんだよ」というのをわかっていただきたいな、というのをすごく感じました。</p>
太向館長	<p>残念な話ですね。</p>
六原副委員長	<p>私にそのことを聞かせてくれたボランティアの方は、ブックスタートにも行ったことがある方なので、本当にがっかりしていました。</p>
関委員長	<p>でも、読んだ後じゃないですか。もう子どもが大きくなればね。六原さんのように、最初の本だから大事に神棚にでも上げておこうかという人もいるかもしれないけど、用済みになればねえ。</p>
六原副委員長	<p>ボロボロになるくらい読んでもらったなら一番いいんですけどね、本当は。</p>
神田委員	<p>でも、子どもに買ってやった本というのはなにか捨てがたくて。子育ての記憶があるものだから、うちも邪魔になってしょうがないけれども、どうしてもごみに出せなくて、持ってますけどね。</p>
六原副委員長	<p>だから、すごく若いお母さん、これからお母さんになる方に対して、子どもに本を読んであげることのよさや子どもも幸せだけれども、親もすごく幸せな時間を得られ</p>

	<p>るということを伝えられる機会があったらな、というのをすごく感じました。講座とか、面倒なことじゃなくていいので。</p>
館長	<p>三条市のブックスタートは、お母さんと赤ちゃん一人ひとりに語りかけ、いい反応があった本を差し上げるという方法で、とても気持ちを込めてやっているんです。これは、ほかの市町村の例を知っている人と話をしましても、熱心さにとっても驚かれるぐらいで、他市に誇れる、とても力を入れた、愛情を込めたやり方をとっているはずなんです。それでも、恐縮ですがお母さん方が、不幸にも「本を押しつけられちゃった」という形でしか受けとってくださらなければ、本にはかわいそうですが、売られてしまう運命になるのかもわかりません。では、もっとお母さん方にそれをわかっていたくためには、どう伝えていけばいいのかと悩んでいます。</p>
六原副委員長	<p>積み重ねなんでしょうね、きっと。少しずつの積み重ねなんだと思います。図書館のやっている努力が、もっと積み重なっていってくればというのが、本当に願いです。</p>
館長	<p>そうですね。ただ、ブックスタートにおいでになる方は、もちろんお子さんがお2人目、3人目であれば2度目、3度目になりますが、一人っ子になってしまうと一期一会の機会になるわけですから、図書館でこういう活動をやっているということを広報等で重ねてアピールしていく必要がありますね。まだ赤ちゃんを持たれていない方にも広く知っていただき、その上でブックスタートに来ていただけるようになれば、また違うのかもしれません。そういうブックスタートの大切さといいますか、赤ちゃんにとってどのように財産になるか。もちろん大きくなればどんな大人になっていくかはわからないわけですが、ぜひ財産になるようにと図書館も願って行っているわけですから、それをぜひお母さん方にもご理解いただいて、赤ちゃんの成長とともに、その本を大切に持たせてあげ続けてほしいと心から思います。そのための工夫をしていきたいと思います。</p>
関委員長	<p>ブックスタートで育った子どもが親になるまで待つぐらいの、気長さもないとね。そしてやはり、若いお母さんに、「この本はお子さんが初めて出会った本で、一生の宝ですから、大切に取っておいてくださいね」とひとこと言ってあげることで、やはり違うかもしれません。多分今の若いお母さんはそういう形ではなく、テレビとかばかりで育ってきた世代だからかもしれません。僕らや神田さんはそういうものに飢えて育ってきた世代だから、ものすごく本に対する執着みたいなものがあるけれども、そうではなくテレビで育った子どもは、本といっても雑誌か漫画か、そのぐらいかもしれないし。やはり図書館活動というのは、気長にやらないと駄目なんでしょうね。時代も変わっていくから、本なんて要らないなんていう時代も来るかもしれないし。</p> <p>さて、時間もだいぶ経ちましたが、後半の自動車文庫とかについて、質疑やご意見をいただきたいと思いますが。</p>
杉野委員	<p>要望なんですけど、方針等を見てもみますと、10代・20代の方ですとか、ビジネスマンや理系の分野とか、その辺がちょっと欠けているような感じがします。その辺を今後補っていただけるものか。講座とか施策を入れていただければと思います。あと、アンケートを見ても書いてありましたけれども、視聴覚がいま一つかなと。本館は、スペースの問題もあるんですけど、見る場所がちょっと窮屈な感じがあるのと、あと、</p>

	マイクロフィルムをずっと使えばなしの方がいて、順番待ちが大変だったりするので、少し時間を区切っていただけないかと。待っている方がいなければ延長は結構ですので、その辺を工夫していただければと思います。
名島委員	先日のボランティア養成講座、とても良かったんですけど、参加する人数がもっといてもよかったんじゃないかなと思いました。せっかく講師をお呼びしたのに。“絵本の家ゆきぼうし”の大塚さんは、本当にすぐに役立つお話で良かったと思うのでなおさら。学校のスクールアシスタントの方なんかも、そういうときには一緒に参加できないんでしょうか。そういう人たちにも呼びかけたらいいと思います。
館長	今回も公開の講座でしたので、入口は広くしたのですが、PR 不足だったかなという反省がございます。
名島委員	スクールアシスタントの方なんかもやっていらっしゃるんだったら、十分参考になる話だったなと思いましたので。
杉野委員	ボランティアの養成講座などは、おおむね平日の日中の開催が多いと思うんです。負担がちょっと増えるかもしれないんですが、夜間とか土日とかの講座も入れていただければ、と思うんですが。
館長	読み聞かせボランティア講座は確かに、どちらも平日の日中になってしまったのですが、本の修理等の施設ボランティアの講座の方は、今年は平日の日中、平日の夜、祝日の日中と、おいでになられる方のご都合を考えて、3通りの日時に開かせていただきました。お勤め等がある方等は平日の夜か祝日に、お時間がおできになる方にどうぞということで、平日の夜はお1人ぐらいしかいらっしゃらなかったんですが、そのほかはそれぞれ数名のご参加者があって、7名の方にはすぐご登録もいただきました。施設ボランティア講座のほうでは、そのような工夫をさせていただきました。読み聞かせ講座のほうも、いまスクールアシスタントさんの参加というご意見をいただきましたので、土曜日の午後などの開催のほうがいいのか、今年度はそれを含めて検討させていただきたいと思います。
関委員長	ほかにごいませんか。じゃあ(3)その他として、栄分館の説明をお願いします。
文化振興係長	別紙資料に基づき栄分館の説明
関委員長	ありがとうございました。4月12日にオープン前の見学会というのがあるそうなので、時間を取れる方は行ってみたいと思います。 それでは、最後になりますけれども、私たちの任期も4月で切れます。2年間やりました。市で管理していた図書館から、今年度指定管理者制度に移った。私たちの任期中にこういうことが起きまして、移行していった両方の過程を私たちは知っているわけですので、何か感想がありましたら、指名はしませんので、お願いしたいと思いますが。「ちっとも変わらないじゃないか」という意見も、「いや、大いに変わった。大変良くなった」と意見もありましょうし、「いや、悪くなった」というものもあるかも。最後にありませんか。

六原副委員長	<p>すみません、副委員長と言っているわりには、ずっと私しゃべりっぱなしで、すぐ質問したり意見ばかり言っていて、2年間すみませんでした。変わっていく過程を見られたというのは、それが見たいがために公募させていただいたんですが、すごく貴重な体験だったなと感じています。今はまだ、多分生涯学習課さんに尻をたたかれて、スピードアップ、スピートアップというところもあるかと思うんですが、これからはもっと、生涯学習課のほうにどんどん迫っていくような勢いで、「こんな企画」「あんな企画」ということだけでなく、改善点とかそういったものを迫っていけるような力強さを、図書館に持っていただきたいと思います。読み聞かせをしている関係上、どうしても子どものほうへ目がいくんですけども、やはりそういうところから、読書が好きな子が、人が増えていってほしいなという思いがあるので、頑張っていたきたいなというのが思いです。</p>
関委員長	<p>ほかにご覧いませんか？ はい。特別ないいことは大変満足していらっしゃることだと、館長さんそういうふうにご受けとめてください。平成21年度の活動計画案を見ましても、いろいろ多彩な活動をしていくというのが三条市立図書館の特徴だと思うんですが、少ないスタッフで大変ご苦労だと思います。予算も限られちゃって。でも、この図書館だいが古くなりましたけれども、古いのが悪いというわけではなくて、利用する部屋もたくさんありますし。この間見附の図書館に行ってきましたけれども、あちらは新しくできたのですごく明るい感じがしますし、見附の出身の詩人がだいが助言をしたので、結構モダンなつくりになっていますが、感心する面もあれば、ここが足りないと思う面もあります。建物だけ見ればあっちのほうが良く見えるんですが、要は、何をやるのかというのがいちばん大事です。今日のお話の中にもいろいろ出てきましたけれども、やはり三条市の図書館ですから、市民を育てるなんて言うちょっと生意気ですけども、市民のためになることをいちばん根っこにしてほしい。それと、そのためには目先のことだけではなくて、やはり長い目で見て...さっきのブックスタートもそうですし、書庫に眠っている大事な資料もいろいろありますので、そういうものを後の世代に残していったらいいという、そうした角度で、これからはまた、多彩な活動を繰り広げていただきたいなと思います。</p> <p>それでは、私どもの委員ではこれが最後の会になります。また次期も引き続いてやられる方もおられるかもしれませんが、またよろしくお願ひしたいと思います。いろいろとつたないところもあったかと思いますが、どうも委員の皆さん、ご苦労さまでした。太向さん、どうもありがとうございました。</p>
館長	<p>本当に皆さま、2年間ありがとうございました。これ以降もまた、叱咤激励をぜひよろしくお願ひいたします。皆様あつての図書館でございますので、本当によろしくお願ひ申し上げます。本日はどうもありがとうございました。</p>